



平成 26 年度認定		
 	氏名	麻田 良一 (あさだ りょういち) 昭和 23 年生
	住所	石川県能美市
	分野	加賀丸いも (やまのいも)
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形は球状で粘りは長いものと比べ遙かに強く、変色し難い。また、凸凹が少ないため皮むき時のロスやアクが少なく粘りも安定。手取川の氾濫で水田に砂壤土が堆積したため適地となり、生産調整を機に栽培面積が増加。</li> <li>・ 畝づくりから収穫まで 13 ヶ月、連作障害防止のため、水稲との輪作により同一ほ場には 3 年に 1 回栽培。芋は 1 株から 1 個収穫。</li> <li>・ 昭和 49 年から栽培。形状を丸くするための水稲跡地で土壌水分を見極めて高畝を作り、芋の大きさ、品質、収量が最適となる栽植密度を確立。肥培管理は緩効性肥料を施用し、除草剤の施用を抑制。収量、品質とも毎年トップクラス。栽培歴の監修により地域の栽培方法が統一。</li> <li>・ JA 生産部会長として栽培技術の向上や研究に尽力。また、近隣市町の 3JA からなる南加賀丸いも生産協議会からの技術指導要請にも応じ技術伝承中。地域では省力化・機械化栽培体系の確立が課題となっており積極的な助言で重要な役割を果たす。</li> </ul>
	相談・指導に 応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加賀丸いも (やまのいも) について 丸いもの作付可能地区の中心に位置する五間堂町にて、40 年前から栽培を開始し、施肥や農薬施用の制御、適正栽植密度の確立により、地域の栽培方法の統一に務めた。また、長年、JA 生産部会長として在籍、部会内の後継者育成としての栽培指導はもちろん、小学校農業体験学習へ参画することで地域での丸いもの継承と食育指導に貢献している。テレビ等報道機関への出演や取材依頼は現生産部会長に譲っているが、「加賀丸いも」の良さを全国に発信し、ブランドとしての強化や、認知度の浸透に尽力している。</li> </ul>
	国・都道府県・ 中央団体等の 受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 7 年 中日農業賞 (丸いも部会長時)</li> <li>・ 平成 12 年 石川県中核農家経営改善共励会知事賞</li> <li>・ 平成 23 年 石川県ふるさとの匠「(生産の匠(加賀丸いもの栽培)」認定</li> </ul> そのほか、JA 根上フェスティバル農産物品評会「丸いも部」入賞多数
	主な役職	
HP		